

事務事業名		恒川・高岡遺跡群調査活用事業			会計	一般会計				
課等名		生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第1係	事業種別	政策	開始	13	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
	施策	61	地域資源の発見・資産化							
目的	対象(誰・何を)	恒川・高岡遺跡群			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	調査・研究して、遺跡の実態を解明する				遺跡数			8	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	調査した箇所数(単年度:箇所)			3	2	2	2		
	定性目標									
事業概要	<p>・座光寺地区に所在する恒川遺跡群は、これまでの調査で正倉・館等の遺構が確認されており、奈良時代から平安時代にかけての地方官衙「伊那郡・衙」であることが明らかになっている。</p> <p>・県内で確認された官衙遺跡は岡谷市の榎垣外遺跡と恒川遺跡群のみで、全国的に注目されている遺跡である。</p> <p>・隣接する高岡遺跡には県史跡である高岡1号古墳等が存在し、郡衙成立前段の様相を明らかにし得る重要な地域の一つとして県内外からその調査動向が注目されている。</p> <p>・県教育委員会及び文化庁とは、国の史跡指定に係る協議を行ってきており、これを視野に入れて国・県補助を受けた範囲確認調査を継続実施してきている。</p> <p>・全国的に注目されている恒川遺跡群の調査を通じて当時この地域が果たした役割を解明することは、日本史的にみても当時の律令社会を理解する上で重要な意味をもち、その内容を地域に還元することで、ふるさと意識の醸成や、多様な地域づくりへの活用が期待できる。</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 国史跡指定の取組み				1 説明会回数			1 4回		
	2 郡庁および官衙関連施設確認のための重点調査(遺構の確認調査により郡庁および正倉の範囲把握に努める)				2 発掘調査箇所			2 1箇所		
	3 個人住宅建設に伴う確認調査の実施				3 発掘調査箇所			3 1箇所		
	4 レーダー探査による非破壊調査				4 レーダー探査実施箇所			4 0箇所		
	5 公民館・地域団体と連携した現地学習機会の提供および教材提供、出前講座の実施				5 学習会等の開催・連携			5 2回		
	6 写真記録のデータ化				6 データー化した記録写真数			6 50枚		
	7 正倉域より出土した炭化米・炭化材の自然科学分析				7 分析回数			7 1回		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		5,000	5,005	5,000	5,000	(国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2) (県)文化財保護補助金(埋文発掘)(3/100)				
国庫支出金		2,500	2,500	2,500	2,500					
県支出金		200	150	150	100					
起債										
その他										
一般財源		2,300	2,355	2,350	2,400					
人件費計(千円)②		6,437		19,668						
正規職員所要時間		1,800		5,500						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		11,437	5,005	24,668	5,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>・文化庁・県教委の指導を得て国史跡指定の申請に向けた具体的な取組みに着手した。</p> <p>・パンフレットを製作し、学習素材提供および説明会資料として活用した。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	高速交通網時代をひかえて開発が進行しつつある中で、恒川遺跡群を確実に保存し、現在のまちづくりに活かしていく取組みが必要となっている。								
	②改革提案	当面、第一次候補区域の国史跡指定を実現させ、当該区域の保存管理計画を策定するとともに、政庁域の特定を重点課題とした調査を実施する。								